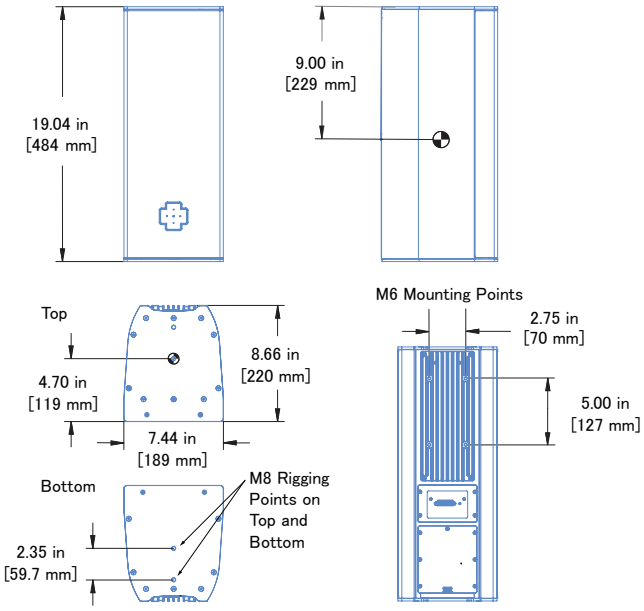
ULTRA-X20XP™ コンパクトワイドカバレッジスピーカー
ULTRA-X22XP™ コンパクトナローカバレッジスピーカー
ULTRA-X23XP™ コンパクトブロードカバレッジスピーカー



MeyerSoundのULTRA-X20XPラウドスピーカーは、受賞歴のある最先端のULTRA-X40ポイントソース技術を小型化し、サイズと重量が重要なアプリケーションに適したバージョンにしました。ULTRA-X20XP/22XP/23XPの小型バージョンには、以下のような改良が加えられています。

- あらゆる音源を広いダイナミックレンジで忠実に再現する、革新的な高効率D級アンプを搭載しています。
- わずか27ポンド(12.3kg)の重量で、かつキャビネットサイズを縮小しています。
- 同軸ドライバーのメリットを活かし、デメリットを排除した同心円状のドライバー構成です。さらに、600Hzまでの指向性コントロールにも対応しています。
- ホーンは回転式で、精密で均一なカバレージを実現するように動作します。このホーン設計は、同心円状のドライバー構成と連動して、向きに関係なく同じ音を出すことができます。

ULTRA-X20XPラウドスピーカーは、非常にコンパクトな通気性の高いエンクロージャーで、高出力、低歪み、一貫した位相応答を提供します。このラウドスピーカーは、2つの5インチコーン低周波ドライバーと1つの2インチダイアフラムコンプレッションドライバーを、回転可能な110° ×50° のConstant-Qホーンと結合させています。ULTRA-X22XP モデルでは、回転可能な80° x 50° のConstant-Qホーンを装備し、よりコントロールされたパターンを利用できます。より広い範囲をカバーするULTRA-X23XPは、110° ×110° のConstant-Qホーンを搭載しています。

独自の高周波ホーンにより、ビーム幅は、水平面と垂直面の両方、およびホー ンの動作周波数範囲全体で厳密な許容範囲内で一貫しています。このように、偏波特性の予測が可能なため、システム設計の手間を省き、最適なシステムパフォーマンスを実現します。

ULTRA-X20XPは、独自の3チャンネルD級デジタルパワーアンプを搭載し、合計860Wのピーク出力を実現しています。オーディオプロセッシングには、電子クロスオー バー、位相と周波数特性の補正フィルター、ドライバー保護回路を備えています。位相補正を施した電子回路により、均一な振幅・位相特性を実現し、優れた インパルス応答と正確なイメージングを実現しています。

IntelligentDC技術により、ULTRA-X20XPは1つのPhoenix™5ピンコネクターからDC電源とバランスオーディオが供給されます。Meyer Sound MPS IntelligentDC外部電源からラウドスピーカーに電源を供給することで、セルフパワーシステムの利点を残しつつ、コンジット配線が不要になります。

Meyer Sound MPS IntelligentDC電源は、ULTRA-X20XPラウドスピーカーや他のMeyer Sound IntelligentDCラウドスピーカーにDCパワーとバランスオーディオを分配します。ULTRA-X20XPのアンプとシグナルプロセッシング回路は、DCパワーを蓄積し、電圧降下に耐えるため、ライトゲージケーブルや長尺ケーブルに対応します。Belden® 1502などの複合マルチコンダクターケーブルは、電源用の18AWGワイヤーを使用して、ピークSPLがわずか1dBの損失で、150フィートまでのケーブル長でDCパワーとバランスオーディオの両方をスピーカーに供給できます。より太いゲージのワイヤーを使用すれば、より長いケーブル長を確保することができます。2チャンネルのMPS-482HPパワーサプライは、チャンネル数が少ない場合や、壁や天井にリモートで取り付けたい場合に最適です。8チャンネルのMPS-488Xは、大規模な設備に適しています。MPS-488Xは、Meyer Soundのリモートモニタリングシステムに接続するためのRJ45ポートを備えCompass® Control Softwareが動作するホストコンピューターはスピーカーからの パラメータを取得し監視することができます。

Meyer Soundは、エレガントでやや湾曲したエンクロージャーを、やや質感のある黒色仕上げのアルミニウム製で構築しています。パウダーコーティングされた丸穴スチールのグリルは、スピーカーの前面を保護します。

ULTRA-X20XPの両端には2つのM8リギングポイントがあり、ポールマウント、1点吊り、壁掛け、天井吊りなど、さまざまな構成が可能です。また、ULTRA-X20XPの背面には、他社製のウォールマウントに使用できる5インチ×2.75インチ(127mm×70mm)の穴パターンのM6ネジ穴が4つ付いています。オプションのリギングアクセサリーには、35mm-M8ポールアダプター、Uブラケット、ヨーク、1つのピックアップポイントから1台または2台を吊り下げることが可能なチャネル上の固定可能なリンクがあります。その他、ウェザープロテクションやカスタムカラー仕上げなどのオプションがあります。

特徴と利点

- コンパクトでエレガント、かつ軽量なアルミニウム製エンクロージャーが、卓越した忠実性と驚くべきパワー能力を秘めています。
- 極めて均一な振幅と位相特性により、音の忠実性と正確なイメージングを実現します。
- ワイドパターンで広い音域をカバーします。
- 回転式ホーンにより設置が柔軟になります。
- 独立したスタンドマウントとQuickFly®マウントオプションにより、リギングが容易になります。

アプリケーション

- 多目的オーディオ/ビジュアル
- 法人向けレンタル
- 礼拝堂
- 会議室
- 高級プライベート・アプリケーション
- 商業施設
- 劇場

アクセサリーおよび関連商品

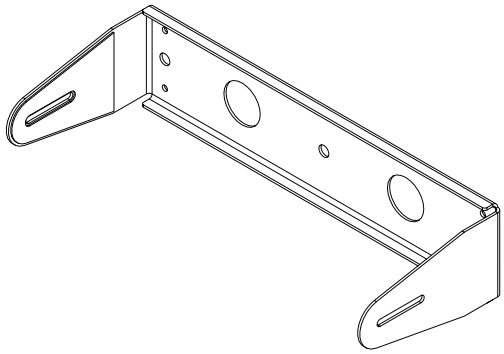
MYA-X20 Yoke Kit (PN 40.297.450.01): MYA-X20ヨークは、ULTRA-X20XP/22XP/23XPラウドスピーカーを1台吊り下げ、水平・垂直の幅広い調整をサポートします。ヨークは、付属の2本のM8ボルト/ワッシャーでスピーカーの上部と下部に取り付けられます。また、キットには2つのM8ノブ/ワッシャーも含まれています。また、オプションのPAS-M8アダプタースリーブを使用することで、ヨークを35mmポールに取り付け、パンやチルトを容易に行うことができます。

MTC-X20 Top Channel Kit (PN 40.297.430.01): MTC-X20トップチャンネルキットは、固定可能なリンクを上部に直接取り付けるチャンネルで、ULTRA-X20XP/22XP/23XPリグナットは、付属の2本のロックピンと3/8インチシャックルを使用して1点から最大2台のULTRA-X20XP/22XP/23XPスピーカーのピックアップをサポートします。(2台のスピーカーを吊るすには、MTC-X20トップチャンネルが3つ必要です。) キットには、チャンネルをスピーカーに取り付けるためのM8ソケットヘッドスクリューが2つ含まれています。

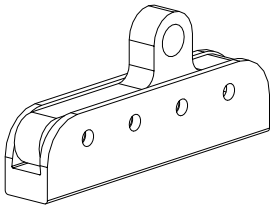
PAS-M8 Adapter Sleeve M8 (35 MM Pole) (PN 40.010.975.01): PAS-M8アダプタースリーブは、ラウドスピーカー上部/下部のULTRA-X20XP M8リグナットに35mmポールを容易に接続できます。また、MYA-X20のヨークをポールマウントする際にも使用できます。(この用途にはナットとワッシャーが必要です。)

MUB-X20 U-Bracket Kit (40.297.454.01): MUB-X20 Uブラケットを使用すると、1台のULTRA-X20XP/22XP/23XPラウドスピーカーを壁(垂直または水平方向)、天井、床にマウントすることができます。キットには、M8ボルト/ワッシャー2本とM8ノブ/ワッシャー2個が含まれています。

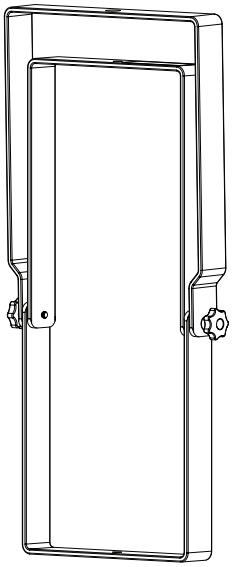
MPK-POLE 35MM/M20 Adjustable Pole Kit (PN 40.010.973.01): 長さ927～1524mm(36.5～60インチ)の調節可能なポール(アシストリフト付き)です。下部シャフトは35mmカップに適合、またはポールマウントカップで安定性を高めるために取り外し可能なM20スレッドラグを使用します。35mmから38mmへの変換アダプターが付属しています。上部シャフトには、M8リグナット付きスピーカーを35mmスピーカースタンドに装着するためのPAS-M8アダプタースリーブが付属しています。PAS-M20と750-LFC/900-LFCサブウーファー内部ポールマウントカップ(35mm/M20)も付属しています。



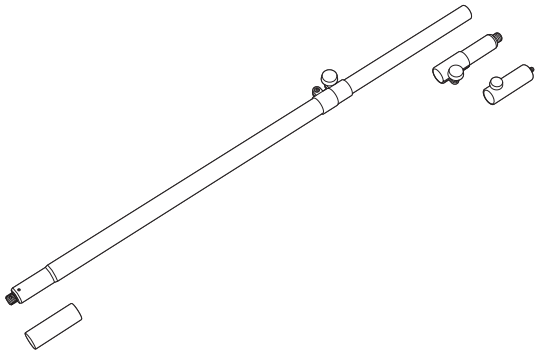
MUB-X20 U-Bracket (PN 40.297.454.01)



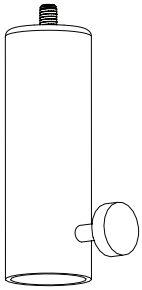
MTC-X20 Top Channel
(PN 40.297.430.01)



MYA-X20 Yoke
(PN 40.297.450.01)



MPK-POLE Pole Kit (PN 40.010.973.01)



PAS-M8 Adapter Sleeve
M8 (35 MM Pole)
(PN 40.010.975.01)

仕様

音響[1]	ULTRA-X20XP	ULTRA-X22XP	ULTRA-X23XP
動作周波数範囲[2]	60 Hz – 18 kHz	60 Hz – 18 kHz	60 Hz – 18 kHz
周波数特性[3]	65 Hz – 17.5 kHz ± 4 dB	65 Hz – 17.5 kHz ± 4 dB	65 Hz – 17.5 kHz ± 4 dB
位相応答	95 Hz – 18 kHz ±45°	95 Hz – 18 kHz ±45°	95 Hz – 18 kHz ±45°
リニアピークSPL[4]	**20 dBクレストファクターで127 dB(M-ノイズ),** 123.5 dB (Pinkノイズ), 125.5 dB (B-ノイズ)	**20 dBクレストファクターで128.5 dB (M-ノイズ),** 123.5 dB (Pink ノイズ), 125 dB (B-ノイズ)	**20 dBクレストファクターで127.5 dB (M-ノイズ),** 124 dB (Pink ノイズ), 125.5 dB (B-ノイズ)
指向角度			
	回転式ホーン: 110° x 50°	回転式ホーン: 80° x 50°	110° x 110°
トランデューサー			
低域	5インチコーン型ドライバー×2、公称インピーダンス6 Ω		
高域	回転式ホーンに接続された2インチダイアフラムのコンプレッションドライバー×1、公称インピーダンス8 Ω		
オーディオ入力			
タイプ	差動式、電子バランスタイプ		
最大同相範囲	DC±15 V、電圧過渡保護のためにアース接続		
コネクター	Phoenix 5ピンオス		
入力インピーダンス	オーディオ(+)とオーディオ(–)間の10kΩ差動		
配線	ピン1:DC電源(–) ピン2:DC電源(+) ピン3:オーディオシールド、シャーシ/アース ピン4:オーディオ(–) ピン5:オーディオ(+)		
公称入力感度	0 dBV (1.0 V rms) 連続 通常ノイズ/オーディオ信号のリミッター開始ポイント		
入力レベル	オーディオソースは、ラウドスピーカーの動作帯域幅で最大ピークSPLを生成するために、600Ωで+20dBV(10V rms)を生成できるものである必要があります。		
アンプ			
タイプ	3チャンネル、クラスD		
総出力電力[5]	860 W (ピーク)		
THD, IM, TIM	<0.02%		
冷却	対流		
DC電源			
コネクター	フェニックス5ピンオスで電源とオーディオの接続が可能(上記「配線」参照)		
安全定格電圧範囲[6,7]	48 V DC–Meyer Sound MPS-482HP または MPS-488HP パワーサプライが必要です(NEC ANSI/NFPA 70 Class 2 Wiring承認済み)。		
外観			
サイズ	幅: 7.44 in (189 mm) x 高さ: 19.04 in (484 mm) x 奥行き: 8.66 in (220 mm)		
重さ	27 lb (12.3 kg)		
エンクロージャー	アルミニウム製、やや質感のある黒色仕上げ		
IP等級	レインフードが適切に取り付けられた、耐候性に優れたIP 54等級のバージョン。詳細は、meyersound.com/documentsで入手できるULTRA-X 20 XPの操作手順を参照してください。		
保護グリル	パウダーコーティング、丸穴スチール		
リギング	両端に組み込まれた2つのM8ネジ穴、さまざまなリギングオプションに対応するオプションアクセサリー(アクセサリーセクションをご覧ください)、サードパーティ製ウォールマウントに使用できる5インチ×2.75インチ(127 mm×70 mm)のホールパターンを持つ4つのM6ネジ穴が背面にあります。		

仕様

注釈

1. ラウドスピーカーシステムのカバレージとSPLの予測は、Meyer SoundのMAPPシステムデザインツールで利用できます。
2. 推奨される最大動作周波数範囲。応答は負荷条件と室内音響に応じて変化します。
3. 自由音場、4mで1/3オクターブの周波数分解能で測定します。
4. **リニアピークSPL**は、1 mを基準とした4 mの自由音場で測定されます。ラウドスピーカーのSPLコンプレッションは、リミッター開始時、Mノイズで2時間連続、50° Cの周囲温度で測定され、2 dB未満です。

   M-ノイズは、スピーカーの音楽性能をよりよく測定するためにMeyer Soundによって開発された全帯域幅（10 Hz–22.5 kHz）のテスト信号です。オクターブバンドで一定の瞬間ピークレベルと、周波数によって増加するクレストファクターを持ち、全帯域のPeak/RMS比は18dBです。

   Pink ノイズは全帯域のテスト信号で、Peak/RMS比は12.5dBです。

   B-ノイズは、最も一般的な入力スペクトルを再現する際に、システムの動作を測定値に反映させるために使用されるMeyer Soundのテスト信号です。また、ピンクノイズを超えるヘッドルームが存在することを確認するために使用します。
6. ピークパワーは、アンプが公称負荷インピーダンスに生成するクリップされていない最大ピーク電圧に基づいています。
7. ケーブルの長さによる電圧降下を最大30%まで許容します。
8. MPS-482HP、MPS-488HPについては、それぞれのDataSheetまたはOperating Instructionsを参照してください。（Meyersound.com/documentsで入手できます。）

設計仕様

ラウドスピーカーは、セルフパワー型のフルレンジシステムです。トランスデューサーは、2つの5インチコーンドライバーと1つの2インチダイアフラムコンプレッションドライバーを、モデルによって異なるカバレージのホーンに接続します：ワイドカバレッジモデルは110° ×50° 回転可能なホーンを、ナローカバレッジモデルは80° ×50° 回転可能なホーンを装備、ブロードカバレッジは110° ×110° ホーンです。

ラウドスピーカーシステムは、プロセッシングエレクトロニクスと3チャンネルのクラスDアンプを内蔵しています。プロセッシングには、イコライザー、位相補正、クロスオーバー、高・低周波セクションの保護が含まれます。ピーク出力は合計860Wとし、高域チャンネルの公称インピーダンスは8Ω、低域チャンネルの公称インピーダンスは6Ωです。歪み（THD、IM、TIM）は0.02%以下です。

動作周波数範囲：60Hz～18kHz、位相特性：95Hz～18kHz±45° です。ワイドカバレッジバージョンのリニアピークSPLは127dB、クレストファクター20dB、Mノイズで測定、1mを基準に4mの自由音場、そのカバレッジパターン（-6dBポイント）は110° ×50° 、水平または垂直でホーンの向きによります。ナローカバレッジバージョンのリニアピークSPLは、128.5dB、クレストファクター20dB、Mノイズで測定、1mを基準に4mの自由音場、カバレッジパターン（-6dBポイント）は80° ×50° 、水平または垂直でホーンの向きによります。ブロードカバーバージョンのリニアピークSPLは127.5dBで、クレストファクター20dB、Mノイズで測定、1mを基準として4mの自由音場、そのカバーパターン（-6dBポイント）は110° ×110° です。

オーディオ入力は、10kΩのインピーダンスで電子バランスされており、公称0dBV（1V rms）の信号を受信します。コネクタは、Phoenix 5ピンオスです。ラウドスピーカーに必要な電源は、48V DCを供給できるMeyer Sound MPS IntelligentDC電源です。Meyer Sound の RMS リモートモニタリングシステムは、MPS-488X パワーサプライを介して利用できます。

全ての部品は、わずかに質感のある黒仕上げが施されたアルミニュウムで作られた最適に調整された通気性のある、台形のエンクロージャーに取り付けられ、両端には2つのM8ネジ穴、後部には5インチ×2.75インチ（127mm×70mm）で4つのM6ネジ穴があります。前面保護グリルは、パウダーコーティングされた丸穴スチール製です。寸法は、幅：7.44 インチ（189mm）×高さ：19.04 インチ（484mm）×奥行き：8.66 インチ（220mm）です。

重量は12.3kg（27ポンド）です。

ワイドカバレッジスピーカーモデルはMeyer Sound ULTRA-X20XP、ナローカバレッジスピーカーモデルはMeyer Sound ULTRA-X22XP、ブロードカバレッジスピーカーモデルはMeyer Sound ULTRA-X23XPです。

Meyer Sound Laboratories, Incorporated.
2832 San Pablo Avenue
Berkeley, CA 94702

+1 510 486.1166
meyersound.com/contact
meyersound.com

ULTRA-X20XP/22XP/23XP
04.297.104.02 A2
Copyright © 2021. All Rights Reserved.

http://artwiz.jp
株式会社アートウィズ
〒134-0003 東京都江戸川区春江町5-11-2
Tel : 03-5667-9682

3K59 OR 3JK8 COMMERCIAL AUDIO SYSTEM
c UL us LISTED